

令和元年度学校評価（自己評価）における中間評価

点検・評価項目	自己評価	
	優れている…3	自己点検・自己評価項目総括
	適切…2	
	改善が必要…1	
1. 総合評価	2	進捗や取り組み状況などをみると、適切に展開されている。今後はキャリア教育に関する教材等の充実をはかっていきたい。
2. 「学習の記録」簿	2	記録簿の記載に関してはほとんどのクラスが適切に記載されている。現状は問題ないが、記載方法に関してはICTなども利用してより効率的にしていきたい。
3. 作成記録	2	各学年とも記載漏れが少なくなった。しかし、記載内容に関してはクラスによって取り組みの差があるので、より充実した記録の作成を呼びかけていく必要がある。
4. 教材	2	教材に関してはおおむね適切だが、DVDの内容によっては多少古いものもあるので、内容を検討しICT機器なども利用した新しい展開も検討していく必要がある。
5. カリキュラムの履行状況	3	おおむね計画テーマ及び時間に沿った学習活動が展開されている。担任裁量で総合学習の時間を利用される先生も減り、総合学習の時間であるとの認識をしっかりと持ってもらえるようになった。
6. 年間計画の適性	2	適切な年間計画の作成はできている。ただ、クラステーマ設定の時期と文化祭の時期が重なるため、担任の負担も考えた年間計画作成の検討も必要である。
7. カリキュラムの適性	2	おおむね適切である。しかしこれからはよりキャリア学習にも重点をおいた計画作成が必要である。

